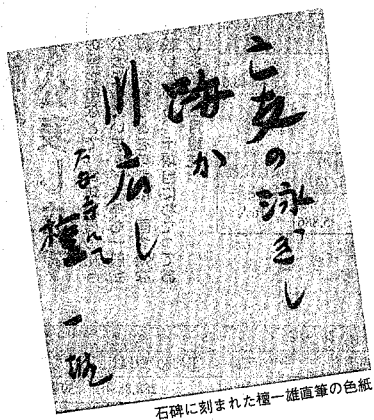




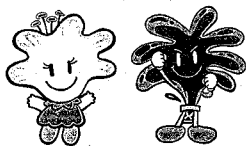
石碑に刻まれた檀一雄直筆の色紙



あいさつする檀一雄の長男・太郎氏

安吾の親友、
檀一雄の
心を刻んで

広報



いつ

10/15

9月29日、檀一雄文学碑の除幕式が大安寺
集落開発センター隣地で行われました。

当日は檀一雄文学碑を建てる会の皆さんを
はじめ、約100名の関係者が出席。『亡友の泳
ぎし跡か川広し』の句が刻まれた文学碑は清
流阿賀野川を見つめ、昭和41年に坂口家の墓
をお参りしたときの檀一雄の心情がいっぱい
詰まっています。坂口安吾の親友であれば、
私たちににとって大切な人。だから檀一雄の心
が新津にあってもいいのではないか……。そ
んな想いを文学碑建立に託した同会の皆さ
んの優しさが、きっと文学のまち・新津を創
る礎になることでしょう。

広報にいつは資源保護のため再生紙を利用しています

偉大なる田舎をめぐりて 私たちの郷

新津

1996 No.812